

ノ器械ヲ用ユト雖モ厚鋼ヲ塞折ニシテ多少ノ破損物ヲ生セサルハナシ塞折用器械ハ其所屬原理ニ於テ熱鋼ヲ屈折スル者ニ異ナルコトナシ即チ鑄鐵或ハ鑄鋼ノ長キロールヲシテ槓桿ノ一端ニ於テ自在ニ回轉セシムルニアリ唯其異ナル處ロハ熱鋼ニアツテハ人力ヲ使用スヘシト雖モ塞鋼ニアリテハ水壓力ヲ使用スルニアリ近來ノ試驗ニ依レハ塞折ノ損害ヲ減縮スヘキ一手段アリ即チ破壊スルニ非スシハ屈折シ難キ厚鋼モ之ヲ一度熱シテ徐々ニ冷却スルキハ能ク塞折ノ位度ヲ増大ニスヘシ例之ハ一時以上ノ厚鋼ハ嘗テ塞折九十度ニ達スル能ハスシテ先ツ破壊セシモ之ヲ前ノ如ク取扱フキハ同壓力ヲ使用スト雖モ能ク九十度以上ニ塞折スルヲ得タリ

以上ノ結果ヨリシテ之ヲ考フルニ厚鋼塞折ニ伴隨スル損害ハ能ク遠カラスシテ皆無トナルヘキハ疑ヲ容レス而シテ軟鋼塞折ノ發達ハ大ヒニ船舶製造費ヲ減少スルノ利益アルヲ以テ斯ノ如キ進歩ハ造船事業ノ爲メ甚タ冀望スヘキ事ナリ

(八月二日刊行エンジニア工學士富山榮吉)

○オーストリヤ國山間鐵道

オーストリヤ政府ニテハ此度サラシホトモスターノ間ニ在ルアイバン山脈ヲ橫斷シアプト氏ノ意匠ニ係ハル (Aht's Rack Railway System) 齒車形ノ傾斜鐵道軌副廿五吋ナル者ヲ布設シハンガリー州ヨリアドリヤチツク海ニ出ル直接ノ搬路ヲ開カントテ既ニアプト氏ヲ拾三ヶ年招聘ノ契約ヲ成シタル由我國コトモ平地ノ鐵道ハ追々落成シ殆ント餘地ナキニ至ルニ付遠カラス種々ナル山間鐵道ノ必要ヲ感スルコト至ルベシ

○ロンドン土木工師會

ロンドン府土木工師會インスターウシヨンオフシビルエンジニ